



# 学校だより

第  
10  
号

令和 5 年 2 月 17 日  
〒184-0012 中町 1-8-25  
TEL : 042-383-1162  
FAX : 042-382-0402

主体的に学びに向かう力 校長 川井 まさよ



先週金曜日には、警報も出るほどの雪でしたが、夕方からは雨に変わり、翌日の土曜日は暖かな良いお天気となりましたが、また今週は寒い日が続いています。まさに、三寒四温という言葉通りですが、それでも、梅の花がほころび始めるなど、少しずつ春に近づいているようです。

3年生は、1月末の都立や私立の推薦試験に続き、今月10日からの私立の一般入試も終わり、すでに進路先が決まった生徒もいます。が、ほとんどの生徒は、都立の一般入試を21日に控え、頑張っています。

6組は、14日(火)に、武蔵野市民会館で行われた、多摩特研の「劇と音楽の会」に参加してきました。演目は、トーンチャイムで、音楽祭でも披露した「校歌」と「いのちの歌」でした。当日、生徒たちの奏でるトーンチャイムの澄んだ音色が会場に響きわたり、真剣に演奏する姿に心打たれる一時(ひととき)でした。生徒たちは、本番に向けて、2学期からずっと練習に励んできました。この取組を通し、よりよい演奏をするという目標のために、あきらめずに練習に取り組むことや、仲間と協力することの大切さ、当日は、演奏をやり切ったことへの達成感や、大勢の前で演奏できたことにより、人前でも自信をもって行動できる力につながっていくと考えています。

今月1日(水)には、小金井教育の日の第2部の生徒会交流にて、生徒会役員が「ハチドリプロジェクト」の報告を行い、また5校での意見交換も行われました。「ハチドリプロジェクト」は、来年度も引き続き継続していき

ますが、生徒たち一人一人が、さらに自分事として考え、そして行動できるようになってほしいと考えています。また、学校での取組が、各家庭や地域に広がっていくことも必要と考え、次年度、さらなる「ハチドリプロジェクト」が展開されることを期待しています。今年度の本校の取組として、生徒会作成の「ハチドリプロジェクト」の動画を、近日中にHPで掲載する予定です。ぜひご覧いただき、ご家庭でも話題にしていいただければと思います。



さて、今月末には学年末考査が実施されます。定期考査の取組として、生徒たちは毎回、試験範囲に基づいたテスト勉強の計画(いつ、何を、どの程度、どうやって、取り組むのか、など)を立て、これに基づいて試験勉強をします。試験後には、返却された答案結果も踏まえて、自分の取組についての振り返りを行い、日常の取組や次の定期考査の取組に生かしてきました。計画を立てることを通して、先を見通す力の育成を図り、また、取組についての振り返りを行い、改善することを通して、「主体的に学びに向かう態度」(学びを調整し、粘り強く取り組む態度)を育てていきます。学び方は、人それぞれに違ってよいのであり、自分によりあった方法(効果が出る方法)を自分自身で見つけだしていくことが、次への大きなステップにつながるのです。将来社会において活躍していくうえで、先を見通す力や学びを調節し粘り強く取り組む態度は、あきらめずに問題解決に取り組むという大きな力となります。これらの育成は、定期考査の計画表だけでなく、各教科の授業やその他の教育活動、例えば部活動や委員会活動、行事などの様々な学校生活において、今後も意図的に行ってまいります。ご家庭においても、結果だけでなく、そのプロセスを大切にすることなどの話し合いなどをすることにより、共に子供たちを育てていければと考えます。ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

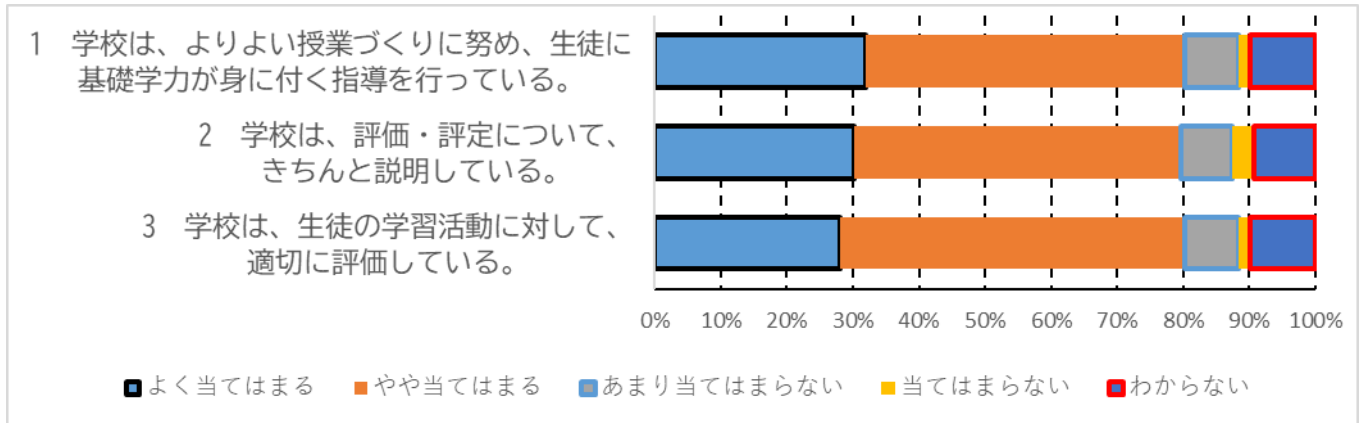


## 保護者アンケートの結果



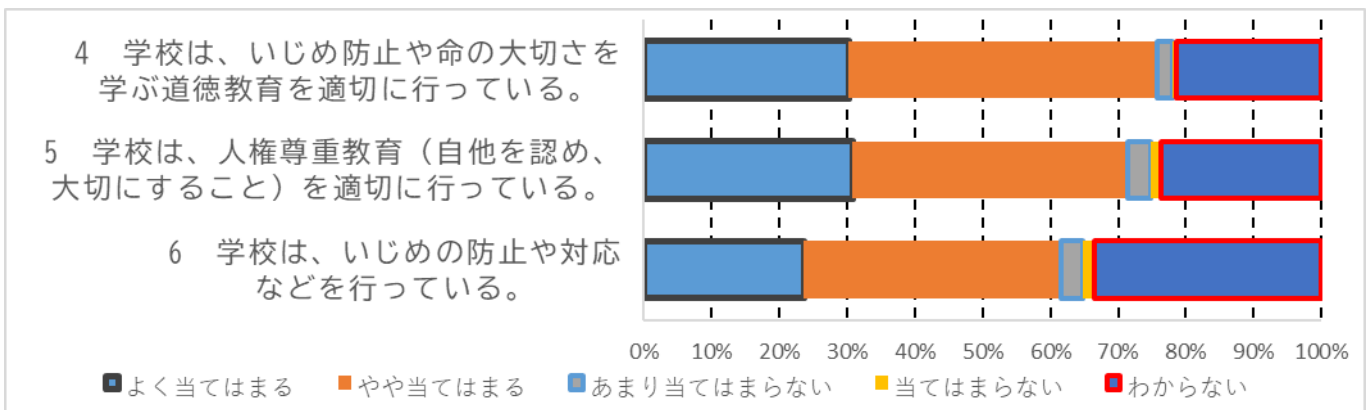
昨年末に実施いたしました教育活動についての保護者アンケートに、ご協力いただきありがとうございました(期間中に182名の回答をいただきました)。結果についてご報告いたします。現在来年度に向けて今年度の教育活動の総括を行っております。それぞれの課題につきましましては、いただいたご意見をもとに来年度の教育活動に活かしてまいりたいと考えています。

※ 質問1～3は、学習に関する質問項目となります。



どの質問に対しても「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合計した肯定的回答はおよそ80%でした。本校では2021年1月に出版された中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」に記載されている内容を受け止め、今後ともICT機器や一人一台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現のため授業づくりに取り組み、よりよい授業づくり、評価・評定についての説明責任を果たしてまいります。

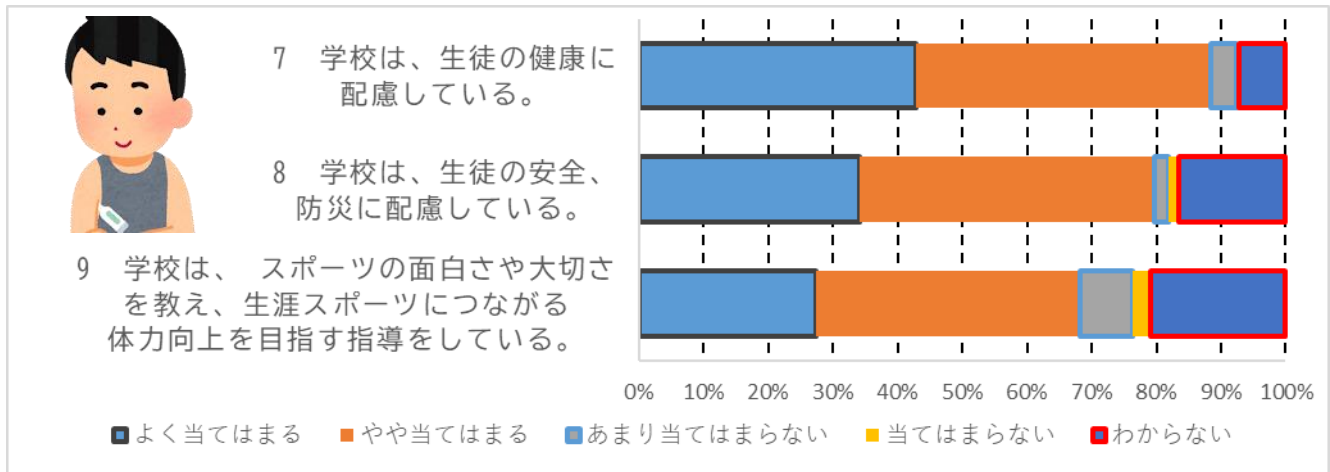
※ 質問4～6は、人権教育をはじめとする生活指導面についての質問項目となります。



概ね肯定的な評価割合が高くなっておりませんが、「わからない」の回答率が高く、コロナ禍で学校・生徒の取組を直接ご覧いただく機会になかなか恵まれないことが残念です。学校としての発信は今後も課題となるととらえております。今後も「特別の教科道徳」の授業等の取り組みを通じて生徒の人権意識の更なる涵養に努め、その取組については、「保護者会」「三者面談」「道徳授業地区公開講座」などで情報を発信してまいります。

感染症の拡大状況にもよりますが、来年度も土曜授業を設定し、できる限り学校公開を実施していきます。

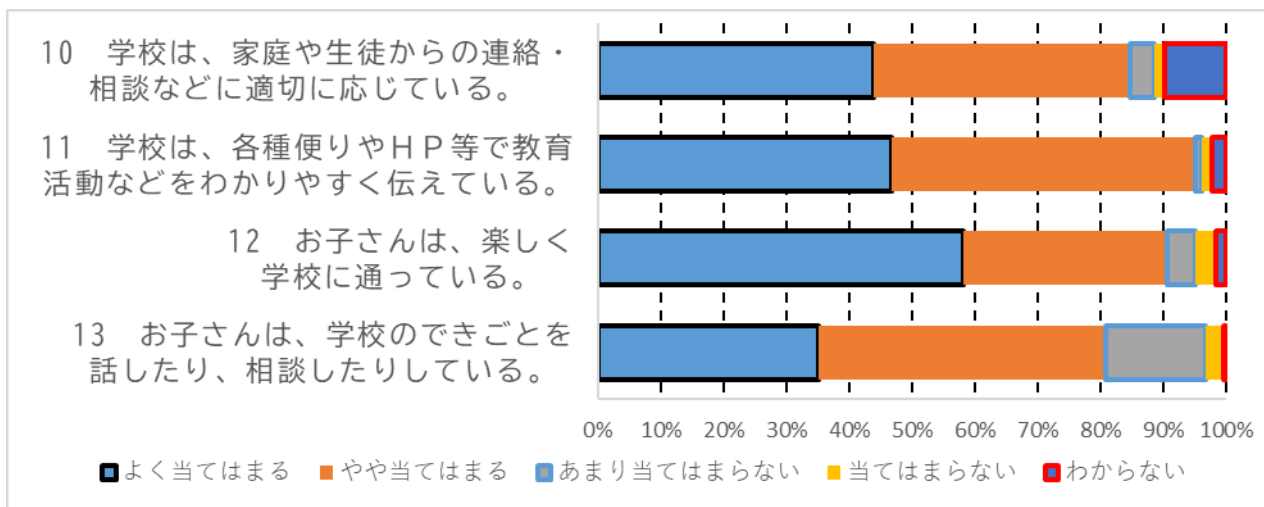
※ 質問7～9は、健康・安全・体力等の面についての質問項目となります。



ご家庭での毎朝の健康観察へのご協力ありがとうございました。引き続き感染拡大防止へのご協力をよろしくお願い致します。給食の時間については、授業後の手洗いや配膳を含めた時間設定となっています。各学級にて協力して配膳を行い、少しでも時間に余裕をもって食べることができるよう工夫しております。

質問9については、保健体育の授業でバレーボールやサッカーなどの競技スポーツ以外にも、アルティメットやモルックなどのスポーツを取り入れて活動し、スポーツの面白さにふれ、生涯スポーツにつながる指導を工夫しております。給食等の対応を含め、来年度も安全面に配慮した教育活動を実施してまいります。

※ 質問10～13は、学校の対応や広報、お子さんのご家庭で見せる様子についての質問項目となります。



質問10・11について自由意見も含めて、肯定的なご回答をととても多くいただき、大変ありがたいことと受け止めております。質問13については、肯定的な回答は80%以上と低くはないのですが、学校の様子を話したがない生徒もいるようです。

記述では、次ページ以降のように、様々なご意見が寄せられました。紙面の関係で一部を省略させていただきましたが、掲載いたしましたのでご確認ください。教員の教育活動のさらなる励みとなる意見をたくさんいただく一方で、学校だけでは改善の難しいこと、また、生徒への配慮が行き届いていないこと、教員の発言や行動についての耳の痛いご意見もあり、大変反省させられました。それだけ本校の様々な教育活動に対して、ご期待をいただいていることの流れであろうととらえております。アンケート実施時期以外でも、気になることがございましたらぜひご意見をお寄せください。さらなる改善に向けて行動していきます。

※ 質問1～3（学習に関する質問項目）に関わること

ご意見	回答
<p>生徒目線で寄り添って考えてくださる先生が多いと感じます。夏休みの宿題のやる気を出させてくださった担任の先生に感謝しています。また、親の私が忘れてしまった10代の感覚を思い出させてくださるところが有難いです。</p> <p>クロームブックを利用したリモート授業が受けられる環境にご尽力いただき、ありがとうございます。中学の授業はわからない所が出てくると、親の方で教えることが難しい教科があるので、とても助かります。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者など、自宅待機を余儀なくされた場合などに、授業をできるだけ配信しています。ただし体調が悪い際に無理して受講することはありません。配信機材やネットワーク環境の状況により、配信が困難な時もありますのでご理解いただければ幸いです。</p> <p>授業自体を端末やアプリケーションソフトを活用して進めていくことが増えてきており、メモを取りづらい、という状況があると考えられます。例えば端末を持ち帰るなど、生徒の学びやすさや個別の状況に応じた配慮を検討できるとよいと考えますので、学校へご相談ください。様々な機関等とも連携していきます。</p>
<p>長く学校をお休みをしている間も、教室で行う授業はPCで授業を受けさせてもらったのは有り難かったです</p>	
<p>パソコンメインの授業の場合、授業中ノートにメモを取りづらい（←授業が進んでしまうので）、自宅で授業内容を復習しづらいなど今までの学習方法が成り立たず、どのように自宅学習すべきか模索中です。</p>	
<p>先生との距離が近く、質問しやすいと聞いています。基礎から応用まで身につく指導をしていただいているようです。</p>	<p>年度当初の保護者会でも教務より説明しておりますが、評価は定期考査の点数のみで判断せず、教科の教育活動全般（授業中の課題への取組や実技の内容、課題提出の状況等）を総合的に判断し評価を行っています。</p> <p>また、どのような課題がクリアされれば評価が上がるのかなど、評価については授業の中で生徒に説明をしております。</p> <p>評価計画の詳細はホームページに掲載しておりますのでご確認ください。また、通知表を配布する終業式には「評価材料について」の資料を配布するとともに、生徒が個別に達成度等についての質問に来た場合、教科担当より丁寧な説明を心がけております。</p> <p>生徒自身が自分の課題を明確に把握できるような指導方法および透明性を向上させた評価の実施ができるよう一層工夫してまいります。</p>
<p>基礎学力の定着については、定期考査の後に復習をしていただければ、ありがたいと思います。親が言っても聞かないので。</p>	
<p>定期テストの結果から想像できない評価になっていることがあった。説明を求めたが教科担当ではない担任では納得のいく説明はできないようでした。中学校の評価（内申）は進路人生において重要な役割を担ってしまっている以上、透明性のある評価をお願いしたい。</p>	
<p>テストの点数が良くても、成績表は「よくできた」の評価にならなかった理由が理解できませんでした。何故そうなのか改善するべき点も記入して頂けると家庭からも指導できるのかと思います。</p>	
<p>成績評価の内容が分かりづらいです。例えばAが3つ揃っているのに評価が4となっている場合、課題が不明です。生徒自身が分かっている問題は問題ないとは思いますが。</p>	
<p>提出物等にきちんと評価をつけてお返し頂いています、ありがとうございます。それらの評価の基準と、各評価が成績にどう反映されているのか、教科別で子供に見えるようにお示し頂けますとありがたいです。難しいことだとは思いますが、無理なく可能な範囲内だと思います。</p>	
<p>評価評定について、理解力の悪い子には、個別に紙面にして、どこをどう改善すればいいかを具体的に説明してほしい。提出物やレポートも、指示が抽象的で分かりにくいと感じることがある。</p>	
<p>主体的に学習できるよう、課題の量を検討してほしい。長期休みも、普段できないことをする期間であり、もう少し考慮してほしい。</p>	

質問4～6（生活指導面の質問項目）に関わること

ご意見	回答
お弁当が必要な行事などは、早めに教えていただけるとありがたいです。	年度当初に配布の年間行事予定で、給食の有無は表示いたします。また毎月発行する行事予定でもご確認ください。運動会・運動会予備日・音楽祭についてはお弁当持参となる予定です。
長男・次男とお世話になって感じたことですが、集団生活・コミュニケーションが苦手な生徒のサポートがより多くあると有難いと感じました。表にたって積極的に活躍する生徒は評価されるのはもちろんですが、クラスというチームで「どんな子もそれぞれ長所をいかして、ひとつの行事に向かって協力して作り上げていく」というような活動の充実をサポートして頂けると、自他を認め尊重することに繋がるのではないかと思いますし有難く感じます。	事前学習だけでなく行事が終わった際に、振り返り活動を通し、班員や学級の他の生徒の良かったところを認め合うなど、お互いを認め合う活動に取り組んでおります。
体罰、暴力のない楽しい学校生活とのことですが、生徒指導に於いての、恫喝、暴言などは、言葉の暴力であり体罰と同等だと思います。改善を望みます。	生徒が困り感を訴えるなどした際には学年教員等に声をおかけください。校内では特別支援コーディネーターやCOSMOS教室、スクールカウンセラー(SC)
一部の先生の指導には疑問を感じていますが、毎日楽しく通っておりありがたいです。	やスクールソーシャルワーカー(SSW)など様々な立場でサポートできるよう努めてまいります。
ある先生から、娘の通っていた小学校(第一小学校)について「嫌い」という内容の発言があったようです。細かい経緯や内容は分かりませんがとても傷つき、悲しんでいました。もし本当であれば、好き嫌いがあるのは当然ですが、そういった発言を子どもたちの前でするのは控えていただきたいです。	また、教職員の人権感覚をさらに磨き、適切な発言や服務に関する研修等を通じ生徒に適切な指導ができるように努めてまいります。

質問7～9（健康・安全・体力等の面についての質問項目）に関わること

ご意見	回答
安全面での配慮について、地域とも情報共有や連携をして取り組んでいる。	避難訓練・安全指導は月に1回実施しております。防災頭巾等の持参は行っておりませんが、より適切な対処ができるよう今後も関係機関と連携した指導を実施します。
災害時に防災頭巾やヘルメット等使用しないことが、わかりません。	現状、新たな行事を増やすことは難しいです。
体力づくりのため、マラソン大会のようなイベントがあればいい。	保健体育の授業後に、汗をかき、土埃等がついたままの服装で学校生活をおくり、給食配膳・喫食等を実施することは衛生上好ましくない面を考慮し、標準服での登校と体育授業時の更衣を実施しております。
改善点ではないのですが、新型コロナウイルスの感染拡大、及びインフルエンザが流行し始めているので、体育がある日のジャージ登校を再開していただきたいです。	

質問10～13（学校の対応・広報・ご家庭での様子等の質問項目）に関わること

学校には楽しく通っているように見えるので安心しています。	(同意な意見がいくつかありました)
一人一人のことをよくみてご指導してくださり、感謝しています。	(同意な意見がいくつかありました)
積極的に学習に取り組みいただき感謝しています。また、様々な学校行事から多くの事を学んでいると感じます。今後ともご指導の程何卒宜しくお願い申し上げます。	
毎日のように、子供から学校での話が出ます。先生と生徒の距離が近く、子供が信頼を寄せているのが分かります。本当に良い先生方に恵まれて感謝しています。	
小学校の時より中学校に入ってからの方が、子供が学校の出来事をよく話すようになった。友達も増えて楽しいのだと思います。	
子供の様子で学校に問題が無いことがよくわかります。昔とは違い良くも悪くも多様化している世の中でご苦労も多いと思いますが、引き続き宜しくお願いします。	
いつも学校での楽しい話を沢山しています。勉強も、細かく指導していただいているので、感謝しています。	

<p>沢山の生徒がいて忙しい中、子供たちの友達関係について気にしてくれているなど三者面談でのお話を聞いて感じました。</p>	
<p>初めての中学校生活で不安でしたが、欠席時や問題があった際に先生方が丁寧にきめ細かく対応していただき、安心して過ごすことができました。</p>	
<p>いつも大変お世話になっております。困りごとの多い我が子ですが、担任の先生をはじめ先生方には親身になって対応して頂き、本当に感謝しております。</p>	
<p>体調を崩した時、先生が何が原因かをしっかり子どもに聞いてくださって、子どもの弱さを責めたりせず、でも毎日様子を見に来てじっくり向き合ってくださいましたことはとても感謝しています。</p>	
<p>授業も楽しいようですし、相談事も親身になって聞いてくださるとのこと、また、いじめアンケート等、定期的に学校全体で子供達を見守ってくださっている様子が伺え安心しています。</p>	
<p>学校に行けていないので学校での指導についてはよく分かりませんが、相談等にはいつも親身に乘っていただき、大変ありがたく思っています。</p>	
<p>楽しく通えていたときもあったので、子どもを信じて前向きに見守っていきたいです。</p>	
<p>2月に転校できましたが、友達にも恵まれ学校生活は楽しく過ごしている様子が伺える。</p>	
<p>転入時の懸念していた事が現実となり、学年の先生に相談しましたところ、迅速に対応して頂きましてありがとうございました。色々な先生方のご配慮のおかげで本人も充実した学校生活を送っております。心から感謝致します。ありがとうございます。</p>	
<p>1年生の時に担任していただいた吉田先生には、学校での些細なトラブルでもご連絡いただいたり、登校できなくなってしまった時にはすぐに訪問していただいたりいつも早急に対応していただき信頼と感謝、そして丁寧に子供を見ていただけていると安心して送りだせていました。</p>	
ご意見	回答
<p>学校の出来事について子供の口からは発言が少ないので、振り込みなどの金銭が絡む案件については困るのですが、学校からのHPに掲載していただいているので助かっています。</p>	<p>保護者アンケートの項目の中に「わからない」と回答する割合が多いものがありました。その原因の一つとして、コロナ禍でもあり、学校の様子を直接見ていただく機会が少なくなってしまったこと、学校の普段の授業等の様子を知らせることが不足している部分も影響していると考えております。</p> <p>今後も学校公開や面談などの機会を通じてお子様の様子をお知らせするとともに、学校ホームページや通信、一斉メールの使用等による、広報活動に力を入れていきます。</p>
<p>特に修学旅行の時には大変お忙しい中、保護者を慮っての度々のメールに感動し、有り難く思いました。感謝申し上げます。</p>	
<p>学年だよりが頻繁に配布され、学校生活の様子がわかりやすい。(子供が出し忘れてるものもあるが)</p>	
<p>当てはまるのか当てはまらないのかわからないことが多いです。どこでどう判断すればいいのか、見えないです。</p>	
<p>男の子ということもあり、面倒がって学校生活について積極的には話してくれません。よく分からないという回答もそれが影響しているかもしれません。知ろうとする努力が足りない親の姿勢がむしろ問題ですね。改善してまいりたいと思います。</p>	
<p>年齢特有の揶揄はありますが、いじめや暴力について子供から聞いたことがないので子供たちとの関わりが適切になされているのではと判断した。思春期男子の為、自分から母親へ話しかけることが少ないため。しかし友人たちとは相談しているので特に問題視はしていない。</p>	
<p>コロナ禍で保護者と学校が関わる機会が減っているため、学校の様子が以前よりわかりにくくなっている。また、教員と保護者のコミュニケーションの場も減ってしまっているため、双方に以前より距離があるように感じてしまう。学校行事の縮小や中止などで、保護者同士のつながりも薄くなりがちで、コロナ前に比べて保護者も情報が得にくい状況になっているように感じる。学校は、ホームページや配布物を通して情報発信をしてくれているとは思いますが、どうしても双方向のコミュニケーションにはならないので、保護者の声、教員の声がお互いに届くようになると、学校への安心感や、理解も深まるのではと思う。</p>	